

2025 年 11 月 6 日

Tranzax 株式会社

再生 CDMO 補助金は、Tranzax の P0 ファイナンスの対象補助金となりました

Tranzax 株式会社（代表取締役社長:大塚博之）の補助金 P0 ファイナンスの対象補助金に、このたび、「再生・細胞医療・遺伝子治療製造設備投資支援事業費補助金（再生 CDMO 補助金）」が加わりました。

「再生・細胞医療・遺伝子治療製造設備投資支援事業費補助金（再生 CDMO 補助金）」は、経済産業省所管の補助金であり、今後の市場拡大が見込まれ、特に iPS 細胞分野など我が国に優れた研究開発成果があつて今後の産業化が大きく期待される分野である再生・細胞医療・遺伝子治療製品を受託製造する CDMO (Contract Development and Manufacturing Organization) の設備投資を支援し、製造拠点を整備することによって、日本の創薬力を強化し、再生・細胞医療・遺伝子治療製品の受託開発・製造業を輸出産業とすることを目指しています。

再生 CDMO 補助金の採択事業者には、製薬関係大企業と並んで大学発ベンチャーなどのスタートアップ企業が多数採択されています。これらスタートアップ企業の皆様を中心として、補助金 P0 ファイナンスの活用による資金調達を選択肢の拡大が大いに期待されて、かつ、補助金事務局であるアデコ株式会社様のご協力により、今回の対象追加が実現しました。

Tranzax 株式会社の主力サービスである「P0 ファイナンス®」は、これまでも SBIR 補助金などにおいてスタートアップの皆様が国や自治体の補助金に採択されたり、あるいは大きな開発案件を受注したりした場合におけるつなぎ資金調達における有効なツールとして既に多くのご利用を頂いてまいりましたが、今回の「再生 CDMO 補助金」の追加も大きな契機として、Tranzax 株式会社として今後も、スタートアップの皆様への支援を積極的に展開してまいります。

■再生・細胞医療・遺伝子治療製造設備投資支援事業費補助金（再生 CDMO 補助金）について

アデコ株式会社様を中心とした再生 CDMO 補助金事務局により、補助金事務が執行されています。

<https://cdmo-hojo.jp/#flow>

なお、令和 7 年度事業の応募は終了し、13 事業者（うち 6 事業者が中小事業等）の採択が公表されています。

■P0 ファイナンス®について

Tranzax の『P0 ファイナンス®』は、受注したという事実とその内容を電子記録債権化し、受注時点からの譲渡担保融資を可能とする、今までにない新しいサービスです。



■Tranzax 株式会社について

Tranzax 株式会社は、日本の活力を金融面で支えることをめざしています。電子記録債権を活用し企業活動と商流を見える化することで、利便性が高く革新的なサービスを提供している会社です。

会社名 : Tranzax 株式会社
設立 : 2009 年 7 月 7 日
資本金 : 3,070 百万円（資本準備金等を含む、百万円未満切り捨て）
代表者 : 代表取締役社長 大塚 博之
ホームページ : <https://www.tranzax.co.jp/>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

Tranzax 株式会社 取締役副社長 松脇 達朗 03-6822-6533
HP お問い合わせ画面 <https://www.tranzax.co.jp/contact.php>